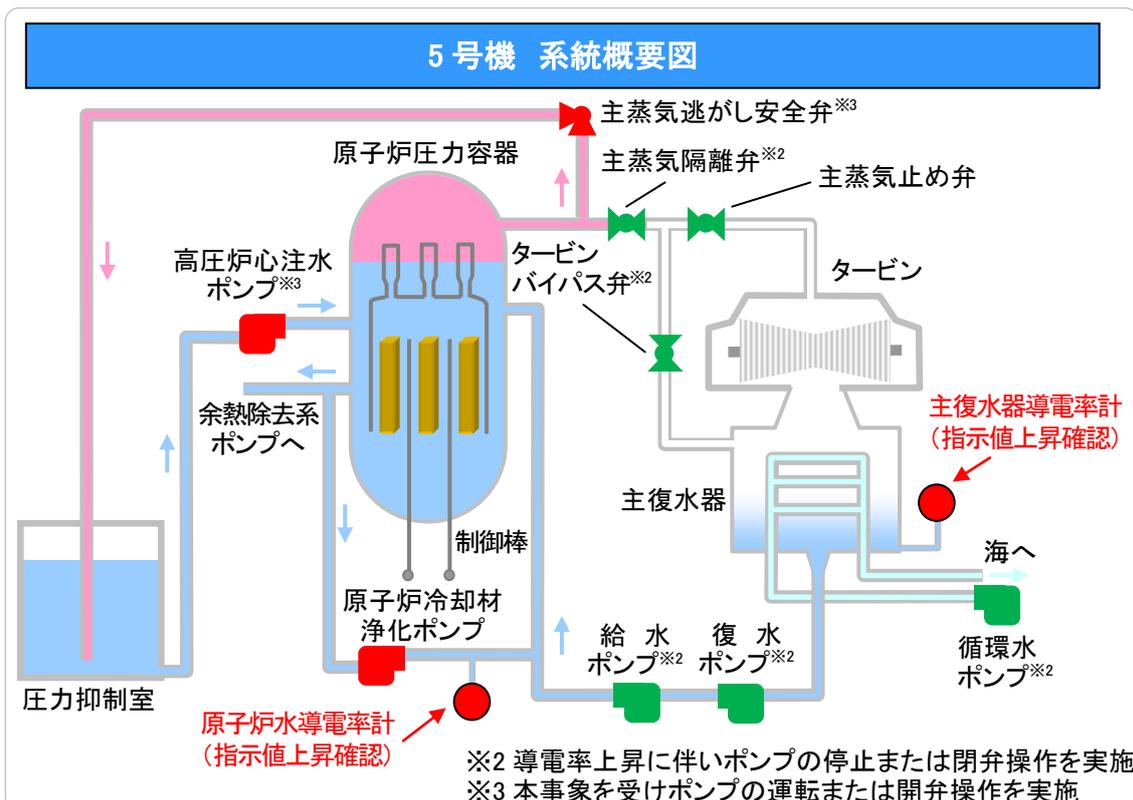


浜岡原子力発電所 5号機 原子炉停止後の主復水器の導電率の上昇について

2011年5月15日

発生号機	5号機（停止中）：改良型沸騰水型、定格電気出力138万キロワット
発生年月日	2011年5月14日
状況	<p>当社は、2011年5月14日13時に5号機の原子炉を停止しました。</p> <p>原子炉の冷温停止に向け操作を実施中、16時30分頃に主復水器^{※1}の水室(A)内の水の純度を監視している導電率計の指示値が上昇し、その後、(B)から(F)全ての導電率計の指示値も上昇するとともに、原子炉水の導電率(原子炉冷却材浄化系)も上昇しました。</p> <p>このため、復水器内で熱交換に用いている海水が復水系へ流入した可能性がある^{と判断し}、原子炉への海水の流入防止のため、給水ポンプ等による原子炉への注水を中止、および循環水ポンプ全台(3台)を停止しました。</p> <p>現在、原子炉は安定しており、操作手順書に従い、冷温停止に向けて操作を継続しており、本日午後に冷温停止となる見込みです。</p>
今後の対応	今後、主復水器の導電率の指示値が上昇した原因を調査します。
放射能の影響	本事象は、放射性物質の漏えいに係わる事象ではありません。
お知らせ基準	「表 2-20 その他の事象であって、公表が望ましいと判断したもの。」に該当します。

※1 主復水器とは、発電のためタービンを回し終えた蒸気を、再び水に戻すための冷却器であり、5号機には3台(A～C)あります。なお、復水器1台に2つの水室があります。



以上